



事業イメージ写真

- 本社所在地：東京都板橋区板橋2-64-6 TUKビル2階
- 事業概要：ビルメンテナンス・設備管理・清掃サービス
- 常時使用する従業員：868名 (2024年3月時点)
- 現在の売上高：45.6億円 (2024年3月期)
- 法人番号：8011401010579
- Web：https://sanko-c-m.jp/

## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役  
大屋 貴幸

**全従業員とその家族の物心両面の豊かさを追求すると共に、社会貢献に寄与し企業の繁栄を実現すること。**

「人づくり街づくりを通じ、美しい好循環都市を築く」  
当社は創業以来、「感謝と信頼」を基軸にビルメンテナンスの事業を展開し、社会の安心を支えてきました。現在、インバウンド需要拡大や多様な働き方の進展により、清掃業界は人手不足・DX化の大変革期を迎えています。当社は、この変化を成長機会と捉え、既存事業と「都市型民泊事業」、「清掃DXプラットフォーム『ソージー』の運営事業」の3事業を軸に、現場ノウハウとDXを融合させます。これにより持続的に企業価値を高め、働く人々の豊かな未来と地域経済の発展に貢献してまいります。

## 売上高100億円実現の目標と課題

### 実現目標

- ・ 2030年までに既存事業+民泊+清掃のDXシステム(システム名：ソージー)で連結売上を100億円
- ・ 民泊・清掃事業は首都圏から全国へ拡大し運営
- ・ ソージーは登録ワーカー3.5万人規模の清掃マッチングプラットフォームに成長

### 課題

- ・ 民泊法規制・地域共生：許可可や近隣住民対応の円滑化
- ・ 清掃事業・清掃DX(ソージー)の拡大：IT投資・人材教育・競合差別化
- ・ 人材不足と高齢化：教育・評価制度強化による定着率向上
- ・ 資金調達と投資回収：建築費・開発費の最適配分

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

### 目指す成長手段

- ・ 民泊事業：都市型モデルの成功実績を基に、大阪・京都・福岡など主要都市へ展開
- ・ 清掃事業：事業者の清掃支援、清掃DX「ソージー」を運営し、全国へ展開
- ・ 清掃DX「ソージー」：動画研修+星評価で質の高い人材を確保し、民泊の他にホテル・オフィスなどへ供給
- ・ 既存清掃とのシナジー：現場ノウハウをDX化し、総合ビルメンの付加価値を高める

### 実施体制

- ・ 経営直轄のPJ組成：新たに、DX推進部・民泊事業部の創設+既存事業部の連携を強化
- ・ KPI管理・PDCA：稼働率・星評価・登録ワーカー数などを月次レビュー
- ・ パートナー連携：ITベンダー、金融機関、行政書士、観光団体などと協力し迅速に拡大

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

## 売上高100億円実現の目標と課題

これからますます伸長するインバウンド向けの民泊事業及び、民泊やその他の清掃を委託する事業者とスキマ時間を利用して清掃業務を行いたい方をマッチングするプラットフォーム事業は、業界の新たなDX（デジタル・トランスフォーメーション）として、当社にとって大きな清掃事業の拡大の成長機会です。

一方で、法規制の遵守や地域住民との共生、近年のインバウンド需要変動など、外部環境の変化に迅速に対応する必要があります。民泊においては、住宅宿泊事業法や旅館業法への適切な対応、近隣の理解獲得、緊急時のトラブル対応体制などが運営上の重要課題です。清掃業界でも、高齢化・人手不足が顕在化しており、教育・評価体制や働き方の柔軟化を通じて、多様な人材が安定して働ける仕組みを整えなければなりません。当社が取り組む「清掃DXプラットフォーム『ソージー』」では、動画研修や星評価システムを導入し、従来の“経験頼み”に留まらない品質・効率向上を目指します。さらに、資金調達と投資回収のバランスも大きなテーマです。民泊施設の建設費や「清掃DXプラットフォーム『ソージー』」のプラットフォーム開発費といった初期投資を適切に管理し、補助金や金融機関の支援を活用しながら、早期の収益化を図ります。この過程で、定期的にKPIをモニタリングし、PDCAサイクルを徹底することで、リスクを最小限に抑えつつ計画を推進します。

当社はこうした課題を一つひとつ着実に乗り越え、2030年に売上高100億円という目標を実現してまいります。同時に、人材育成と雇用創出を通じて社会的課題を解決し、地域と共に成長する企業として、持続可能な価値を提供し続ける所存です。

